

第5章  
地区別まちづくり  
実施計画

## 第5章の目次

片瀬地区まちづくり実施計画	259
鵜沼地区まちづくり実施計画	285
辻堂地区まちづくり実施計画	309
村岡地区まちづくり実施計画	329
藤沢地区まちづくり実施計画	353
明治地区まちづくり実施計画	379
善行地区まちづくり実施計画	407
湘南大庭まちづくり実施計画	431
六会地区まちづくり実施計画	453
湘南台地区まちづくり実施計画	479
遠藤地区まちづくり実施計画	513
長後地区まちづくり実施計画	535
御所見地区まちづくり実施計画	567

## 1 まちづくり事業計画の見方

まちづくり事業計画は、都市ビジョン・藤沢づくりのめざす方向性・ふじさわ未来課題・戦略目標（地域まちづくり目標）・政策（地域まちづくり活動）で分類しています。

その中で、各事業に、まちづくり地域事業・まちづくり行政事業（全市・地区）・まちづくり市民連携事業・まちづくり公民連携事業・まちづくり広域連携事業の分類をつけています。

## 2 まちづくり情報

まちづくり事業の内容は、実施する主体又は地域経営会議からの事業案によって検討されていますが、参考となる活動や今後まちづくり事業に発展する可能性のあるものについても「まちづくり情報」として掲載します。

## 3 まちづくりアイデア提案事業

まちづくりのための活動のうち、アイデアとして提案されたもの、様々な主体の協力が必要なものについては、アイデア提案事業として別冊にまとめます。

## 4 地域まちづくり目標に関する指標等

### (1) 成果指標・現状値・めざそう値

成果指標は、地域まちづくり目標について、この指標が改善されれば、良くなったと考えられる状態を示しています。現状値はその値をアンケート等により測定したもので、めざそう値は実際に活動をしている皆さんの声をアンケート調査により集約したものです。

### (2) 役割の担い手

役割の担い手は、「めざそう値」実現に向けた、取り組む主体の多様性を示すもので、2010年（平成22年）8月21日から9月3日にかけて実施した「めざそう値」調査の項目として調査しました。計1,367件の5段階評価（役割は、大きい、やや大きい、やや小さい、小さい、ない）の回答を集計後、各主体毎の割合を求めたものです。それぞれの割合は、責任の大きさではなく、実現に向け行動する主体としての期待を示しています。

「まちづくり計画」では、紙面とページ数の点から、凡例により表示します。

#### 【凡例】

A：市民（個人・家庭） B：市民団体（含市民ボランティア）・NPO  
C：地域団体（自治会・町内会等） D：企業等（民間企業・財団法人等）  
E：子育て機関（学校・幼稚園・保育園等） F： G：その他

### (3) 地域まちづくり活動・成果の視点・主要な指標

地域まちづくり活動は、地域まちづくり目標を改善された状態にするために、どのような活動の方向性があるかを示したものです。成果の視点は、地域まちづくり活動が実現されたと考えられる状態を示しています。

主要な指標は、成果の視点の実現度を測定するベンチマークとして定めています。

## 表の見方

事業名	まちづくり推進事業						①
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					②
1-1-7-01-1-1	地域分権	地域と全市が連携しておこなう事業(地域+全市)					
事業内容	<p>社会経済情勢の急激な変化と将来の少子化、高齢化による人口構成の変化に対応するため策定した新総合計画を推進するため、実施計画事業の事業評価をもとに適切な進捗管理と実施計画のローリング、見直し、基本計画の進捗管理、ローリング、見直しを行い、基本計画の目標達成を図るとともに、基本計画の重要な視点である、「新しい公共」と「地域分権」を推進します。</p> <p>また、進捗状況や達成状況を常に把握し、情報公開することで、計画推進の透明性を確保します。</p>						③
活動指標	現状値が改善された目標の数の割合						
目標値	現状値	0	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		④
役割期待	<p>市域全体のまちづくり計画については、進捗管理、ローリングなど行政主体で実施するが、地域まちづくり活動については、13地区の市民センター・公民館と地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいて進捗管理、ローリングを実施します。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	⑤
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	評価・見直し	→	→	改定	→	→	
事業の成果	<p>各部門の実施計画事業について実施手法を検討するとともに、適切な進捗管理を行い、拡大の方向性についても検討を進めることにより、新しい公共の推進が図られます。また、地域における担い手の可能性について検討を進めることにより、一層の「地域分権」の推進が図られます。</p>						⑥
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111	

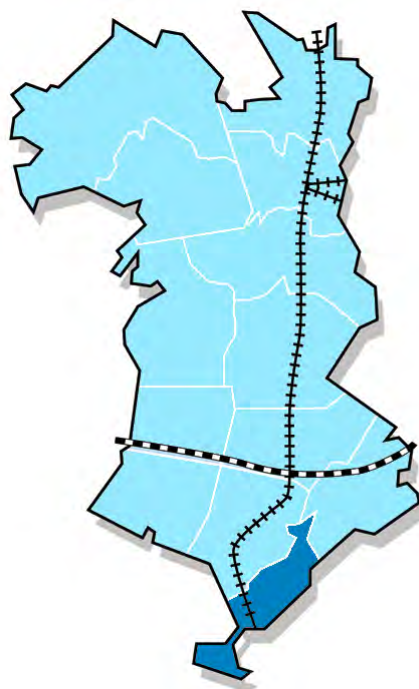
- ① 事業名と総合計画上の区分（体系コード・事業区分）を示します。
- ② 事業の内容について示します。
- ③ その事業がどの程度行われたかを示す活動指標と、その目標値、役割期待（活動を担う主体の役割と期待）を示します。
- ④ 事業の進捗と関係する地域の活動スケジュールを示します。
- ⑤ 事業の成果として期待される内容を示します。
- ⑥ 実施主体と連絡先を示します。

# 新総合計画実施計画

## 片瀬地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島



---

## 地区のあらまし

---

片瀬に最初に人が住んだのは、縄文・弥生時代からといわれています。鎌倉時代には幕府と京をつなぐ要所となり、江の島はこの頃から信仰の地となっています。明治期、境川の東側に位置する片瀬・江の島は鎌倉郡に属していましたが、昭和22年に藤沢市に編入されました。

人口は、2010年（平成22年）12月1日現在で20,712人となっており、全市の5.1%を占めています。市内13地区では3番目に少ない人口となっています。65歳以上の人口の占める割合は24.9%で、市内で1番の高齢化率となっています。また0～14歳の年少人口は13地区で3番目に少ない割合となっています。

片瀬地区の地勢としては、藤沢市の南東部の海岸線に位置し、東西1.42km、南北4.29km、面積は3.02km<sup>2</sup>で全市の4.3%を占めています。湘南の海と山に恵まれ、東は鎌倉市に隣接し、南海上の江の島、海岸に面した片瀬海岸、境川東岸の片瀬、山林を宅地造成した片瀬山・片瀬目白山など様々な特徴を持った地形となっています。

---

## 地区の特色

---

市内でも早くから市街化が進行した地区であり、市街地は海岸部の商業地を除き、そのほとんどが住宅地となっています。

県内有数の観光地『江の島』があり、夏の海水浴、花火大会では片瀬海岸は大きな賑わいとなります。江の島展望灯台、サムエル・コッキング苑、江の島岩屋、新江ノ島水族館などの観光資源が多数あり、年間約1,250万人の観光客が訪れます。



地区内を縦断するように住宅の庭先を「江ノ電」が走り、藤沢から「小田急」が、大船からは「湘南モノレール」も乗り入れています。

歴史ある神社・仏閣が多数あり、史跡も多く存在する旧街道“ゑのしま道”は、歴史と文化を感じる地域の生活道路のひとつとなっています。標高60m程の片瀬山の住宅は高台に位置し、富士山や箱根の連山を望むことができます。

日常生活の中で、海・磯・砂浜・川・林などが身近な自然として親しまれています。

また、片瀬漁港では、江の島沖からその日に水揚げされた鮮魚の直売が行われています。

市無形文化財の「片瀬餅つき唄」が子ども達に受け継がれており、長い歴史を誇る片瀬諏訪神社例大祭、江の島八坂神社例大祭、龍口寺法難会などの祭りでは、地域をあげた賑わいとなります。

---

## 片瀬地区地域経営会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）

---

17の活動団体からの推薦委員と公募委員で構成し、福祉や防犯の活動拠点として、ボランティアセンター、安全・安心ステーションを開設し、ボランティアの育成や、乳幼児からお年寄りまでの居場所づくりなどの福祉事業、また子どもの通学時間帯の見守りなど防犯事業などを実施しています。 今後は、さらに広く地域の課題に取り組んでいきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなにやさしい 思いやりのまち片瀬

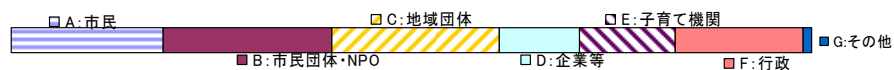
【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】 ①7%

【めざそう値】 3年後：①10% 6年後：①15%

【役割の担い手】 ①A:19% B:21% C:21% D:10% E:12% F:16% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 みんなが知っている、参加している、連携している地域活動の推進

<成果の視点> 地域活動が活発で、助け合うまちづくりがなされていること。

〔主要な指標〕 人材バンクの活用件数

○実施事業 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 つなげよう！学校・家庭・地域の輪

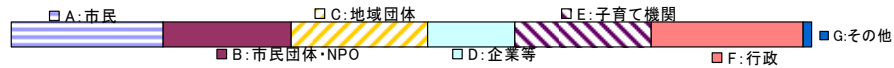
【成果指標】

①地域が子育てに積極的に関わっていると感じている市民の割合

【現状値】 ①34%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:11% E:17% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－2》 子ども達を見守り，育む地域づくりの推進

＜成果の視点＞ 学校・家庭・地域が連携して子どもを見守り，育む活動をしていること。

〔主要な指標〕 寺子屋の参加者数

- 実施事業 片瀬寺子屋事業
- プレイパーク設置事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ，市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と，犯罪や災害への不安解消などによる，安全で安心できる地域社会を創り上げることがめざします。また，病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず，心も健やかであるために，生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

18 災害に対して，市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

03 地域力最大 被害最小 災害に負けないまち片瀬

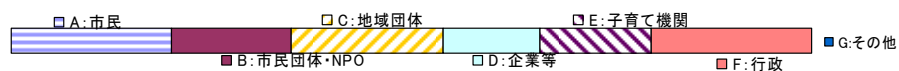
【成果指標】

①災害対策がしっかりとできていると感じている人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:19% D:12% E:14% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 災害にも安全なまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 災害に安全な環境づくりがされていること。

〔主要な指標〕 災害危険箇所（物）解消数

- 実施事業 プレジャーボート対策事業
- 災害等危険箇所把握事業

《活動－4》 地域力による災害対策の推進

＜成果の視点＞ 地域で防災活動などの対策が進められていること。

〔主要な指標〕 地域における防災活動の開催数・参加数

- 実施事業 災害時要援護者支援事業
- 地区防災活動推進事業



## ふじさわ未来課題

### 23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

#### 04 みんなで支え、みんなで守る片瀬の暮らし

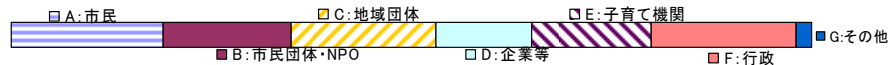
【成果指標】

①地域に支えられて暮らしていると実感している人の割合

【現状値】①28%

【めざそう値】3年後：①33% 6年後：①40%

【役割の担い手】①A:19% B:16% C:18% D:12% E:15% F:18% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 地域で支え合う福祉活動の推進

<成果の視点> 地域に必要な福祉的な活動が行われていること。

〔主要な指標〕 地域に支えられて暮らしていると実感している30歳未満と70歳以上の人の割合

- 実施事業 生活支援ボランティア推進事業
- ひとり暮らし高齢者見守り事業
- 青少年お掃除隊事業
- まちかど相談事業

《活動－6》 活動の場、安らぎの場があるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域に福祉活動の拠点やいつでも集える場等が整っていること。

〔主要な指標〕 居場所の開設日数

- 実施事業 地域の居場所あり方検討事業
- 青少年居場所事業

## ふじさわ未来課題

### 19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

#### 05 お年寄りも安心！子どもも安全！住みよい片瀬

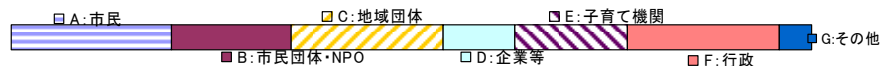
【成果指標】

①安心安全なまちと感じている人の割合

【現状値】①33%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:20% B:15% C:19% D:9% E:14% F:19% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 犯罪のない安心なまちづくりの推進

<成果の視点> 犯罪が少なくなっていくこと。

〔主要な指標〕 地区内の犯罪発生数対前年比

- 実施事業 地域安全マップ事業
- 環境浄化事業

《活動－８》 交通事故のない安全なまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 交通事故の危険がないまちづくりが進められていること。

〔主要な指標〕 地区内の交通事故発生数対前年比

- 実施事業 生活道路の安全向上対策事業  
交通ルール、マナー向上事業

都市ビジョン 2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

06 えがおで暮らそう！明るい片瀬

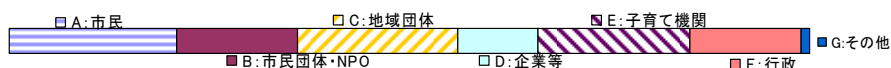
【成果指標】

① 日常の挨拶ができていると思う人の割合

【現状値】 ① 64%

【めざそう値】 3年後：① 70% 6年後：① 80%

【役割の担い手】 ① A:21% B:15% C:20% D:10% E:19% F:14% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－９》 世代を超えたコミュニケーションとふれあいのあるまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域に挨拶があふれ、世代を超えたふれあいがあること。

〔主要な指標〕 あいさつ運動参加者数

- 実施事業 まちかどミニベンチ設置事業  
あいさつ運動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

## 40 地域にある様々な地域資源\*1が活かされていること

【地域まちづくり目標】

### 07 活かそう！守ろう！つなげよう！片瀬の資源

【成果指標】

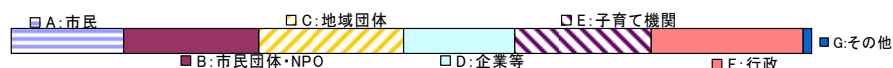
①歴史などの地域資源が活かされていると思う人の割合

②自然などの地域資源が活かされていると思う人の割合

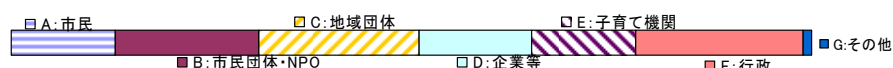
【現状値】 ①34% ②41%

【めざそう値】 3年後：①40% ②50% 6年後：①50% ②60%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%



②A:13% B:18% C:20% D:14% E:13% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 地域の歴史・文化や伝統行事を発展、継承するまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の歴史や文化が発展・継承される対策がされていること。

〔主要な指標〕 発展・継承対策事業参加者数

○実施事業 民族文化財等継承事業

片瀬三大まつり支援事業

《活動－11》 地域の自然や緑を守り、つなげるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の自然が守られる対策がなされていること。

〔主要な指標〕 地域の自然を守る対策事業参加者数

○実施事業 片瀬の自然調査・研究事業

緑と花いっぱい推進活動事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

## 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

### 08 キレイがいちばん！片瀬のまち

【成果指標】

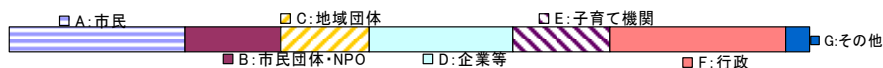
①日常生活の中で、循環型社会の実現に向けた行動を実践している市民の割合

【現状値】 ①71%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①86.5%

\*1 地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

【役割の担い手】 ①A:22% B:12% C:11% D:18% E:12% F:22% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－1 2》 地球環境保全につなげる地域環境活動の推進

<成果の視点> 地域や地球の環境を考えた生活や活動をしていること。

〔主要な指標〕 地域が行う環境対策事業参加者数

- 実施事業 レジ袋削減推進活動事業
- クリーン活動推進事業

### 都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

#### 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

#### 57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

09 やさしい！うれしい！たのしい！片瀬のまち

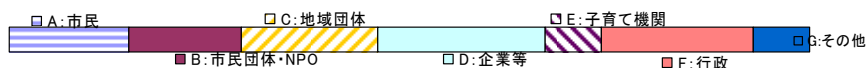
【成果指標】

- ①地域の商業に元気があると感じている市民の割合
- ②地域の農水産業に元気があると感じている市民の割合

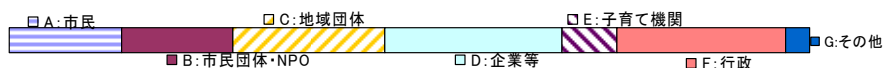
【現状値】 ①13% ②21%

【めざそう値】 3年後：①20% ②29% 6年後：①25% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:21% E:7% F:19% G:7%



②A:14% B:14% C:19% D:22% E:7% F:21% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－1 3》 商店街や漁港と共に進める地域の活性化

<成果の視点> 片瀬の商店街や漁港が発展し、地域が元気であること。

〔主要な指標〕 地域イベントの参加者数

- 実施事業 買い物マップ作成事業
- 片瀬・江の島海岸イベント事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

#### ふじさわ未来課題

### 71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

#### 10 利用しよう！片瀬にあるいろいろなサービス

【成果指標】

①地区内公共施設の利用率

【現状値】①42.9%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:18% B:18% C:23% D:8% E:9% F:20% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 地域の公共資産の有効活用等の推進

＜成果の視点＞ 地域の公共資産が地域ニーズに合った利用がされ、市民主体の事業が行われていること。

〔主要な指標〕 行政への検討結果の提案施設数

○実施事業 公的資産有効活用推進事業

#### ふじさわ未来課題

### 67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

#### 11 でかけよう！安全安心 片瀬のまちへ

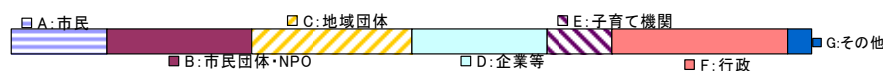
【成果指標】

①移動や利用に不便を感じていない市民の割合

【現状値】①40%

【めざそう値】3年後：①45% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:12% B:18% C:20% D:17% E:8% F:22% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 誰でも、安心して移動できるまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 子どもから高齢者まで、誰でも外出し易い環境が整っていること。

〔主要な指標〕 バリア対策の実施及び提言箇所数

○実施事業 バリアフリーの推進事業

便利な交通体系のあり方検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 73 活気があり，開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

#### 12 世界へ発信！湘南の魅力

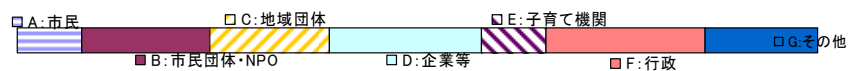
【成果指標】

①片瀬・江の島を訪れる人数

【現状値】①8,265 千人

【めざそう値】3年後：①8,300 千人 6年後：①9,000 千人

【役割の担い手】①A:8% B:16% C:15% D:19% E:8% F:20% G:14%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 湘南の魅力の世界に発信するまちづくりの推進

<成果の視点> 湘南の魅力にあふれ，世界の人々が交流するまちであること。

〔主要な指標〕 フォーラム参加者数

○実施事業 片瀬・江の島芸術フォーラム事業  
江の島道の整備事業

事業名	片瀬地区人材・情報バンクセンター事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-7-01-1-1	地域分権区分						
事業内容	現在、地域のまちづくり活動が一部の地域市民に偏って負担となっている状況があり、事業の発展や新たな事業の展開には、新たな人材の発掘が不可欠です。そこで、地区の人材・情報バンクセンターを設け、コーディネーターを核として、人材養成講座・地域活動やボランティアの情報発信・活動希望者登録・ボランティアが必要な事業(人)等の登録・活動者と事業等の調整・地域活動等のネットワークづくり・地域活動のシステムづくり等を推進していきます。						
	活動指標	人材バンクの登録者数					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	100人	6年後目標値	300人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	コーディネーターを核とし、片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターと連携して、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に行うことにより、地域における担い手の拡大が推進されます。						
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711	

事業名	片瀬寺子屋事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-14-02-2-1	地域分権区分						
事業内容	地域の子どもは地域で育て子ども達が健やかに成長していくことを主眼に、地区内の小学生(中学生は、教育政策推進課の学校支援事業で対応)を対象に、地域の子育て経験の豊かな大人や学生が、勉強会を実施します。初年度は、指導に当たる指導者や会場の確保を図るとともに、支援体制を調査検討します。						
	活動指標	寺子屋の授業数					
	目標値	現状値	0授業	3年後目標値	24授業(2年後)	6年後目標値	48授業(24～)
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に行うことにより、地域のこどもたちが健やかに育まれます。						
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711	

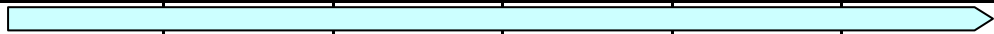
事業名		プレイパーク設置事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
1-2-14-02-2-2		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			
事業内容		地域内でボール遊びできる公園がないため、地域の子も達が元気に外遊びをする場や、高齢者が安全に楽しむ場を提供し、子ども達の体力向上と運動能力を高め、仲間づくりや心の発達につなげるとともに、高齢者とのふれあいの場づくりとすることを目的に、地区内公園や緑の広場、或いは公園予定地などの活用も視野に入れ調査研究し、プレイパーク設置に向けて関係機関との連携を図ります。具体的には、地区内の緑の広場でボール遊びができる場を調査研究し地元調整を行います。公園予定地については、ボール遊びだけでなく、多目的な遊びができる場として、来年度から公園整備にかかるワークショップへ意見提案し、プレイパークが設置されるよう働きかけます。					
活動指標		ボール遊びできる場の箇所数					
目標値		現状値	0箇所	3年後目標値	1箇所	6年後目標値	2箇所(4年後)
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)		検討	検討	実施	→		
事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に、地域のこども達を育てていきます。					
実施主体		藤沢市市民自治部片瀬市民センター				(連絡先) 0466-27-2711	

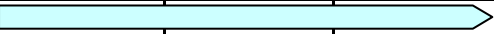
事業名		プレジャーボート対策事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
1-3-18-03-3-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			
事業内容		河川(境川)におけるプレジャーボートの不法係留は、地震による津波などの際、流失災害や火災を引き起こす恐れがあり、周辺の住民に大きな不安を与えています。河川管理者である神奈川県は、平成25年3月31日までの間、不法係留船の河川への係留を暫定的に認めているところであるが、この暫定係留期間終了後、河川からの撤去が速やかに行われるよう、地域住民・県・関係機関との協議体制を構築し、災害に対する不安の解消・安全な環境づくりを推進します。					
活動指標		会議年間開催回数					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	平成24(25年終了)	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)		実施	→				
事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、安全な環境づくりが推進されます。					
実施主体		藤沢市市民自治部片瀬市民センター				(連絡先) 0466-27-2711	



事業名	災害等危険箇所把握事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-03-3-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	片瀬地区は、海と山と川に囲まれた市内でも特有な地域です。今年度行われる予定の県による土砂災害警戒区域調査やハザードマップ等も参考としながら、集中豪雨や地震、津波などの自然災害時による被害が心配される箇所を調査把握する。また、災害時の避難トイレ等設備のあり方など、事前の対応策を検討し、関係者(機関)との協議を進めます。なお、6年間で災害等危険箇所把握事業を一区切りとし、再度必要により検討します。					
活動指標	危険対策協議をした箇所数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	5箇所	6年後目標値	10箇所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→		
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、安全な環境づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	災害時要援護者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-03-4-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	災害時に自ら避難することが困難と思われる高齢者等の安否確認、救出体制など避難支援の仕組みを整備することが地域防災の大きな課題となっていることから、地域の自主防災組織と関係機関等との連携などによる仕組みづくりを推進する、という現状の取り組みに加え、マンション居住者に対する方策の検討や特別な医療処置が必要となる難病患者等の個別の避難支援計画づくりの仕組みを保健・医療・福祉機関等と連携して取り組む等の新たな取り組みを推進します。					
活動指標	要援護者対策を実施している自主防災組織の数					
目標値	現状値	15組織	3年後目標値	22組織	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、地域防災力の向上が図られます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	地区防災活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-03-4-2	地域分権区分					
事業内容	<p>災害が平日の日中に起きた場合など、片瀬中学校生徒等が被災者救助に大きな役割を果たすことが期待されます。そこで、中学生等をジュニア防災リーダーとして養成し、自主防災組織において、その役割を明確に位置付け、普段から地域の自主防災組織の重要なメンバーとして防災活動に参加するなど次世代を担う人材の育成を進めます。</p> <p>毎年、地区の防災活動に中学生の参加を促します。</p>					
活動指標	中学生を組み入れている自主防災組織数					
目標値	現状値	0	3年後目標値	22組織	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(地域)					
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に行うことにより、地域防災力の向上が図られます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	生活支援ボランティア推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>片瀬地区は、藤沢市内において最も高齢化率の高い地域です。しかしながら、地区内に住むお年寄り等の生活弱者には、公的サービスでは賅えない困りごとがたくさん存在します。公的サービスの適用からは外れるが、手助けを必要としている方、小さな手助けがあれば、まだまだ自立した生活を送ることが可能な方などへの生活支援ボランティアの仕組みを充実させ、高齢者等が安心して暮らせるように、地域で支え合うシステムの推進を検討します。</p>					
活動指標	生活支援ボランティア活動者数					
目標値	現状値	38人	3年後目標値	50人(4年後)	6年後目標値	70人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(地域)					
(市域全体)	検討	→	計画	実施	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711


事業名	ひとり暮らし高齢者見守り事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-5-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	地域とのつながりが希薄となっていく現代で、ひとり暮らしの高齢者を地域から孤立させないため、民生委員活動・自主防災会による要援護者支援の仕組み・自治会の班を軸としたコミュニティ活動・老人クラブ友愛チーム・新聞配達員等及び地域包括支援センター・在宅介護支援センター等の専門機関との連携による、ひとり暮らし高齢者の見守り体制など、地域から孤独死がでないようなシステムを調査研究し、取り組みを進めます。					
活動指標	ひとり暮らし見守りシステム数					
目標値	現状値	1システム	3年後目標値	2システム(4年後)	6年後目標値	3システム
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、企業等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	青少年お掃除隊事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-04-5-3	地域分権区分					
事業内容	小田急片瀬江ノ島駅周辺にゴミが多いという現状をふまえ、地域の青少年による駅前広場の清掃活動を地域ボランティアや周辺の事業所等の協力を得て実施します。清掃活動による社会貢献だけでなく、ボランティア活動や話し合いなどを通して、地域の青少年の成長を応援していくことを目的に実施します。H26年度に事業を再検証します。					
活動指標	実施回数					
目標値	現状値	24回	3年後目標値	年52回(23~)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→			
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	まちかど相談事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-04-5-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所等を活用し、地域包括支援センター・在宅介護支援センター・民生委員・主任児童委員・地域ボランティア・専門資格を持つ臨床心理士等の連携によって実施します。					
活動指標	相談日数					
目標値	現状値	61日	3年後目標値	年100日(23)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、学校等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	地域の居場所あり方検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-6-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	ボランティアセンターで各種居場所事業を実施していますが、もっと身近なところに憩える場があれば、利用しやすいとの声があります。そこで、地区内にある市民の家等公共施設の利用も含め、子育てから高齢者まで世代を超えた居場所のあり方について、各地域の意見を踏まえて地域の居場所あり方検討委員会で検討していきます。 平成24年度末までに具体的検討を終え、地区内の居場所事業を策定します。また、その内容により、再整備・改修等の事業費がかかることが予想されます。なお、居場所として4箇所(片瀬山地域、江の島地域、片瀬海岸地域、その他の片瀬地域)を想定しています。					
活動指標	居場所の検討をすすめた地域数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	4箇所	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	青少年居場所事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-04-6-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	近年、地域社会における人間関係の希薄化など人々を取り巻く環境が大きく変化しており、それに伴い青少年が抱える問題も深刻になっています。そこで公民館を利用した青少年の居場所を確保し、青少年と係わり、話をする、話を聞くなど、ボランティアの見守る人を配置します。この事業を通じて次世代育成と地域コミュニティづくりを進めます。この事業は、初年度青少年課が見守りボランティアに対し養成講座を開催し、円滑な事業推進を図ります。					
活動指標	居場所開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年24回(23)	6年後目標値	年48回(24～)
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等と共に行うことにより、支え合う地域づくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	地域安全マップ事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-05-7-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	犯罪のない安全・安心なまちづくりを進めていく上では、次世代を担う子どもたち自身が地域の危険箇所を把握し、危険回避行動能力の向上を図ることが必要不可欠です。地域の幼稚園児、公私立小学生や保護者等を対象として、犯罪機会論に基づく講習会を開催し、「地域安全マップ」の作成等による「地域社会の安全を守る方法」の習得・犯罪予知能力の向上を図るとともに、犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりを関係機関と調整をとりながら推進します。隔年で大学教授を招き講習会を実施、間の年は学生指導員により安全マップ作成事業を実施し、次世代育成を図ります。					
活動指標	講習会年間開催回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年1回	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に行うことにより、安全・安心なまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	環境浄化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-05-7-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内の不法投棄や落書き箇所を把握するために、環境浄化パトロールを実施します。不法投棄や落書きを放置することは、その場所に住民の関心のないことの表れであり、そうした場所で犯罪が起きやすいとされています。そのため、「書かれたら消す」という作業を速やかに行うために、落書き消し隊を結成します。また、合わせて落書きされないきれいな景観を保つために、場所に応じて子ども達を中心に絵を描く事業を進めます。これは、地域の環境浄化と地域の安全を守るために重要な役割を果たすものです。</p>					
活動指標	浄化活動の実施回数					
目標値	現状値	1回	3年後目標値	年4回(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に行うことにより、安全・安心なまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	生活道路の安全向上対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-05-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内の生活道路は、十字路の交差点で優先道路が判断できず、出会い頭の事故やヒヤリが多いのが現状です。既存事業で行う応急的・緊急的な対応ではなく、計画的に地区内の生活道路の危険箇所を利用者・住民の視点で調査し、地区内の優先順位を設定し、注意喚起のために交差点のカラー舗装、スコッチシールの設置などを実施します(カーブミラーの設置は既存事業で継続)。また、通学路を中心に外側線による区切りしかない歩道にカラー舗装を施し安全の向上を図ります。</p>					
活動指標	安全対策実施箇所数					
目標値	現状値	0ヶ所	3年後目標値	年10ヶ所(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、安全・安心なまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	交通ルール、マナー向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-05-8-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>子どもの事故の約4割が自転車乗用中に起きている。子どもの自転車運転マナーの低さが目立つため、交通安全教室を強化します。特に、事故を再現し「恐れ」のイメージを与えることで、自転車の安全な乗り方を効果的にイメージできる「スケアード・ストレイト」を片瀬小学校・中学校の児童・生徒を対象に実施します。子どもの自転車マナーを徹底することで、地域全体の自転車マナーを向上させ、安全なまちづくりを推進します。</p> <p>湘南海岸は、サーフィンの発祥地として季節を問わずたくさんのサーファー達で賑わう場所です。ただ、サーフボードを乗せた自転車は非常に危険であり、特に細い道の多い片瀬地区においては、ルール化の検討を進めます。</p>					
活動指標	スケアードストレイト手法による安全教室の開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	7回(25%)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	→	→				
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等と共に行うことにより、安全・安心なまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711


事業名	まちかどミニベンチ設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-06-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者や障がいがある方が外出時にほっと一休みできたり、地域の人や観光で訪れた人がおしゃべりできたりする腰掛けやベンチを、坂の途中の遊休地や緑地などに、地区内の商店や事業者からの協賛を受けて設置し、ふれあいのあるスペースを創出します。6年後、アンケート調査等利用者の意見等を参考に再検討します。</p>					
活動指標	ミニベンチの設置箇所数					
目標値	現状値	0個	3年後目標値	7個	6年後目標値	22個
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	→	→				
	検討	実施	→	→		
(市域全体)						
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、ふれあいのあるまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	あいさつ運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-06-9-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域における人間関係が希薄になりつつあることが懸念されている中、「あいさつ」は会話のきっかけづくりや思いやりの心が伝えられると同時に、住民同士が世代を超えて交流を図ることができ、あたたかい地域社会をつくりあげていく上で重要なものです。</p> <p>また、コミュニケーションが豊かな地域には、犯罪者が入りにくいという心理的効果も期待できることから、標語の募集や看板の設置等によるあいさつ運動を地域全体で実施し、ふれあいのあるまちづくり・安全なまちづくりを推進します。</p>					
活動指標	あいさつ運動推進事業数					
目標値	現状値	2個	3年後目標値	5個	6年後目標値	5個
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に行うことにより、ふれあいのあるまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	民俗文化財等継承事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-40-07-10-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>片瀬地区で、300年前から唄いつがれてきた片瀬餅つき唄(市無形民俗文化財として片瀬餅つき唄保存会指定しています。)や伝統的な片瀬こまの保存会を立ち上げ保存を行います。また、その他片瀬ゆかりの文化の継承を図ります。</p> <p>今後は、片瀬餅つき唄と片瀬こまの共同発表や展示事業等を開催します。また、この市無形民俗文化財の周知と継承発展のため、こま材の生産地である大島と藤沢の子ども達の交流を検討します。</p>					
活動指標	こま・餅等共同事業開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に行うことにより、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711




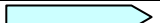
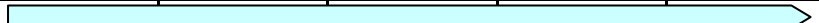
事業名	片瀬三大まつり支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-40-07-10-2	地域分権区分					
事業内容	片瀬地区には、諏訪神社例大祭・江の島天王祭・龍口寺法難会の三大祭りがあります。こうした祭りには、例えばお御輿の担ぎ手が少なくなっていることなど課題があります。地域にある大切な祭りについて、主催者や役員との会議を実施し、その中にある課題などを検討し、市民センター・地域の団体等が支援できる課題が整理できれば、地域の中での支援体制を確立していきます。また、子ども囃子や御輿の担ぎ手など、祭りに参加したい人へ情報を提供したり日程を広報するなど、参加したい人・見たい人に対する応援体制を確立していきます。					
活動指標	主催者・役員との会議開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年3回(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に行うことにより、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	片瀬の自然調査・研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-40-07-11-1	地域分権区分					
事業内容	片瀬地区の生物・植物など豊かな自然を調査・研究し、冊子の作成・研究発表・講座開催を通じて、地域の貴重な自然資源のあり方を検討します。 また、子ども達を中心に自然にふれあう機会を設け、自然環境の維持・保全を次世代へ継承していきます。					
活動指標	自然研究発表・講座の開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年1回(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に行うことにより、地域の自然を活かしたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

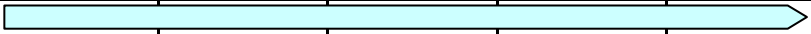
事業名	緑と花いっぱい推進活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-40-07-11-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>全国でも有数の観光地である片瀬・江の島地区としてふさわしい景観確保や地域生活の上で課題となる防犯や環境浄化の観点から雑草が繁茂してしまう場所を中心に地域ボランティアを募り、花植え・草取りを定期的実施する体制を築きます。</p> <p>また、江の島弁天橋の植栽帯の花植え・草取り活動を拡大発展させると共に、同様の活動をしている団体との連携を図っていきます。</p>					
活動指標	花植え活動等実施面積					
目標値	現状値	60㎡	3年後目標値	100㎡	6年後目標値	150㎡
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、地域の自然を活かしたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	レジ袋削減推進活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-08-12-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>今年度、片瀬・鶴沼地区が神奈川県「レジ袋削減推進モデル地域」に指定され、2年間かけて、地球温暖化防止対策の一環として、マイバッグ持参の推奨とレジ袋辞退の呼びかけ等の啓発・学習活動を行っています。これらの活動を地区内に徹底し、役割を明確にして地区全体で取り組むことにより、環境にやさしい生活スタイルの確立をめざします。</p>					
活動指標	活動の啓発活動回数					
目標値	現状値	1回	3年後目標値	年3回(23~)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に行うことにより、環境にやさしいまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター (連絡先) 0466-27-2711					

事業名	クリーン活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-08-12-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>片瀬地区の大切な資源である海岸を地区生活環境協議会が中心となり、毎年1回多くの地区内住民の協力で海岸清掃(グリーン活動)を実施しています。海岸ごみの7割は川から流れてくることから、海岸が汚い=陸地が汚いということになるため、この活動を発展させ、海岸以外の場所でも清掃活動を展開します。</p> <p>また、片瀬海岸は多くの協力団体によって環境美化が守られており、情報交換会などを実施することで、団体間の連携を図り、より効果的な活動に発展させることを目指します。</p>					
活動指標	情報交換会の回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年1回(23~)	6年後目標値	-
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、環境にやさしいまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	買い物マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-57-09-13-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>片瀬地区は、高齢化率25%になるとうとする市内で一番の高齢地区になっています。特に片瀬山は超高齢地区になっている反面、商店はほとんど無く買い物に苦労している方が多くいる現状となっています。こうした状況をふまえて、多くの商店の協力を得ながら、宅配の情報・お得クーポンやバリアフリー情報等を掲載した生活者のための情報を盛り込んだ、片瀬地区の買い物マップを作成し、地域の中で住民と商店・商店街が共生し合い、自助・共助を確立する中で、活気のあるまちづくりを目指します。</p>					
活動指標	マップに掲載したサービス情報数					
目標値	現状値	0個	3年後目標値	20個	6年後目標値	30個(7年後)
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、活力あるまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	片瀬・江の島海岸イベント事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-57-09-13-2	地域分権区分					
事業内容	いきいきとした市民生活を送るためには、地域が楽しく、魅力あふれるものであることが必要です。相模湾に面した片瀬地区特有の自然環境を活かし、商店街や漁業協同組合・ライフセービングクラブ・新江の島水族館等の協力を得て、地曳き網を中心に海岸清掃・漁港朝市のPR・海の安全教室・魚教室・ゲーム大会など、海岸における地域イベントを実施し、活力あるまちづくりの推進、地域の活性化を図ります。					
活動指標	イベント年間開催回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年1回(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、活力あるまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	公的資産有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-10-14-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	市民の家や公園用地をはじめとした地域にある公的資産を地域のニーズに合わせて効果的・効率的に利用・活用できるよう検討を進めます。また、市民主体の地域事業をさらに推進するため地域事業への民間企業からの支援や地域事業への市民提案の仕組み作りなどを検討します。 3年で市民の家3箇所、公園18箇所、公園予定地6箇所、6年で子供の家、学校2、市民センター、しおさいセンター、道路用地、その他1箇所程度の検討が想定されています。					
活動指標	検討した公共資産の施設数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	27箇所	6年後目標値	34箇所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、公的資産が有効に活かされているまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	バリアフリーの推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-67-11-15-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>障がい者、子ども、高齢者など移動困難者の移動がしやすくなるように公共施設等のバリアの調査・研究を実施します。また、その結果に基づき、当該施設管理者とバリアの解消の実現に向け協議を進めます。</p> <p>特に湘南モノレール江の島駅へのエレベーターなどの設置推進に向け関係機関と必要な協議を実施します。</p> <p>また、障害者や車いすでの利用が可能な地区内の施設やトイレなどの位置を示したマップを作成し、配布します。(買い物マップと連携)</p>					
活動指標	バリア対策の協議をした箇所数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	年1箇所(25箇所)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25	→		
(市域全体)	検討・実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に行うことにより、安心して外出できる環境が整備されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	便利な交通体系のあり方検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-67-11-15-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>高齢化が進む片瀬・江の島地区において、高齢者や障がい者の移動がしやすくなる交通体系について検討します。具体的には、既存バスルートの変更やコミュニティーバス、高齢者福祉バス、タクシーのワンコイン乗車、福祉施設の送迎バスの活用などを検討し、関係機関との協議を進めます。</p>					
活動指標	新交通体系の実現箇所数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	1箇所	6年後目標値	2箇所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25	→		
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に行うことにより、安心して外出できる環境が整備されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	片瀬・江の島芸術フォーラム事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-73-12-16-1	地域分権区分					
事業内容	片瀬・江の島にゆかりの文化人や芸術家が多数おり、湘南ブランドを全国に轟かせています。また、文化芸術は、豊かで活力ある地域社会を形成します。そこで、地域の公共施設等を利用し、地元在住やゆかりのある芸術家・音楽家・作家等や、これから活躍するであろう次世代を担う芸術家のたまご等若者の発表と情報交換の場として、「片瀬文化芸術フォーラム」を開催し、広く湘南「片瀬・江の島」の魅力を発信します。					
活動指標	フォーラムの開催数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年1回(23～)	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に行うことにより、湘南の魅力に溢れたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711

事業名	江の島道の整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-73-12-16-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	旧江の島道を歴史探訪の道として整備します。杉山検校の道標をはじめ史跡の整備、道路舗装を散策路としてふさわしい工夫をします。もって生活道路の安全確保の向上・地域の活性化を図ります。さらに沿道の緑化推進、シャッターアートを進め、魅力ある街並みを目指します。また、ふるさとマップ片瀬・江の島の作成を行います。					
活動指標	史跡の整備箇所数					
目標値	現状値	0箇所	3年後目標値	15箇所	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に行うことにより、湘南の魅力に溢れたまちづくりが推進されます。					
実施主体	藤沢市市民自治部片瀬市民センター					(連絡先) 0466-27-2711